

ふるさと

JA秋田ふるさは、新たな期待を創造します。

7

vol.219
2016



【特集】
第18回通常総代会
農地中間管理事業の活用法



組合員募集のお知らせ

JAの事業運営への発言力を持ち、地域活性の一翼を担いませんか？

正組合員の要件

- ① 3 a 以上の農地がある人、② 1 年間のうち60日以上を農作業している人、③ 農業法人（従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く）、それぞれにおいて住所または経営に係る土地または施設がJA秋田ふるさと管内にあるもの



▲6月21日に開催した「JA女性参画推進セミナー」で鷹田直専務が組合員の募集を呼び掛けた。「自分が組合員であるという意識からJAの事業運営に対する発言が出てくる。皆さんの意見を聞き、より良いJAにすることで加入メリットを生み出せる」と話した

准組合員の要件

- ① JA秋田ふるさと管内に住所がある人で、JAの事業を利用することが適当と認められるもの…など

結論



出資金1口5000円で**大多数**
の人が**准組合員**になれる

組合への加入申し込みは、各支店にて受け付けております。
お気軽にお申し込みください！



地域・農業、
くらしを支える
JAグループの
最新情報をお届けします。

購読のお申し込みはJAへ
購読料 1ヵ月 2,623円(税込)

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
<http://www.agrinews.co.jp>
広げよう読者の輪 進めよう協同活動 一 組合員・JA 農協共有運動

CONTENTS

- 02 組合員募集のお知らせ
- 03 もくじ/表紙紹介
- 04 **【特集】**
第18回通常総代会
農地中間管理事業の活用法
- 08 ニュース&トピックス
- 12 営農ワンポイントアドバイス
- 13 地元の高校生が行く！
突撃！アグリリポート
- 14 農に生きる
- 16 レシピ
- 17 健康情報
- 18 ふるさとサロン
- 20 バラエティコーナー
- 22 インフォメーション
- 24 ふるさとの民話
JAの概況

表紙紹介



「表紙」の女の子

菅原 千晴ちゃん(平鹿・1歳《8月20日生まれ》)

両親(父：庸祐さん 母：好美さん)と6月に生まれたばかりの弟(大智くん)、祖父母の6人家族。最近は保育園で正座を覚え、弟のおむつをお母さんに持って行くなどお姉ちゃんとしてしっかりしてきた千晴ちゃん。庭を散歩したり、かけっこをしたり元気に遊んでいます。トマトが大好きで「おいしい？」という問いかけにうなずいてご満悦の様子。1個まるまる食べてくれました。両親は、「千晴ちゃん自身にも周りのみんなにも良いことがたくさん起きるように」という願いを込めて千晴ちゃんの名前をつけました。いつも笑顔ニコニコ優しい子に育ってね。

「旬」な野菜

トマト



トマトは、「トマトが赤くなると医者が青くなる」ということわざがあるほど、身体に良い野菜として知られています。トマトの赤い色は「リコピン」という色素。この成分には強力な抗酸化作用があり、老化を防ぐ効果や肌を美しく保つ美容効果、さらにはガン予防効果など、多くの働きが注目されています。当JA管内で生産されているのは、「りんか409」や「桃太郎」などの大玉品種をはじめ、調理用トマトなどさまざまです。トマト部会は、部会員数63人。ハウス・露地合わせて約7.4haで栽培しており、6月から10月まで出荷しています。



「協同組合」理念に基づく事業運営へ

第18回通常総代会 全議案原案通り可決

J A 秋田ふるさととは6月29日、第18回通常総代会を秋田ふるさと村ドーム劇場で開き、各地区から選任された総代613名のうち、539名（本人出席451名、委任状出席4名、書面出席84名）が出席しました。

議案審議に先立ち、事務局一任により、議長に塩田勉氏（雄物川地区）が選任され議事を進行。慎重審議した結果、上程された2議案と附帯決議、特別決議がいずれも原案通り可決、承認されました。

第1号議案では、第18年度事業報告及び剰余金処分案の承認審議を行い、事業部署ごとに決算概況などを説明しました。続く第2号議案では、農協法の改正に対応すべく定款の一部変更について審議されました。

決算状況について、資産自己査定基準の厳格対応に伴う貸倒引当金の繰入増加があったものの事業総利益は36億5500万円、当期剰余金は4400万円の計上したことを報告。当期剰余金の実績見込み計上していた2800万円を大きく上回った要因を管理費の圧

縮や長期高品質生産となった園芸果樹の販売額が過去最高を記録したこと、予約購買品の配送が堅調に進み購買供給高が増加した結果と説明しました。

これをふまえて小田嶋組合長は「当期剰余金の大幅な上積みは、役職員一丸となって業績向上に取り組んだ結果ではあるが、組合員の皆さまのご理解ご協力があり、達成できた」と深く感謝しました。

さらに、特別決議として「持続可能な農業・農村の実現に向けた特別決議」を満場の拍手で採択しました（次頁に全文を掲載）。

なお、「J A 秋田ふるさと農業賞」には、キュウリ栽培を始め40年余り、地域の牽引役としてさまざまな技術を取り入れながら研鑽（けんさん）してこられた菅原清市さんと京子さんご夫妻（十文字地区）が受賞しました。ご夫婦は、その高い技術から部会のアドバイザー的な役割を果たし、若手育成にも貢献されてきました。総代会に先立ち開いた授賞式には、ご主人の清市さんが出席。小田嶋組合長から賞状と記念品が贈られました。



▲農業賞を受賞した十文字地区の菅原清市さん（左）



▲議長を務めた塩田勉氏（雄物川地区）



▲総代より活発な質問があった



▲小田嶋組合長

持続可能な農業・農村の実現に向けた特別決議

J Aグループは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、多面的機能を有する農業の持続的発展、安全・安心な食料の安定供給、農村社会の維持・発展など、幅広い分野における取り組みをすすめてきた。

一方、農業者の高齢化・世代交代による農業生産基盤の脆弱化がすすんでいることに加え、T P Pによる我が国農業への影響に対して、生産現場には不安と懸念がある。したがって、政府には、国会審議等において、説明責任を果たすことが求められている。

加えて政府は、日E Uや東アジア地域包括的経済連携などの貿易交渉もすすめている。国際化が進展するなかでも、我が国は、食料・農業・農村基本計画における食料自給率45%の政策目標を達成していかなければならない。

こうした厳しい環境のなか、消費者・国民の理解と支援のもとに持続可能な農業・農村を実現するため、組織の総力を挙げて下記の取り組みを展開していく。

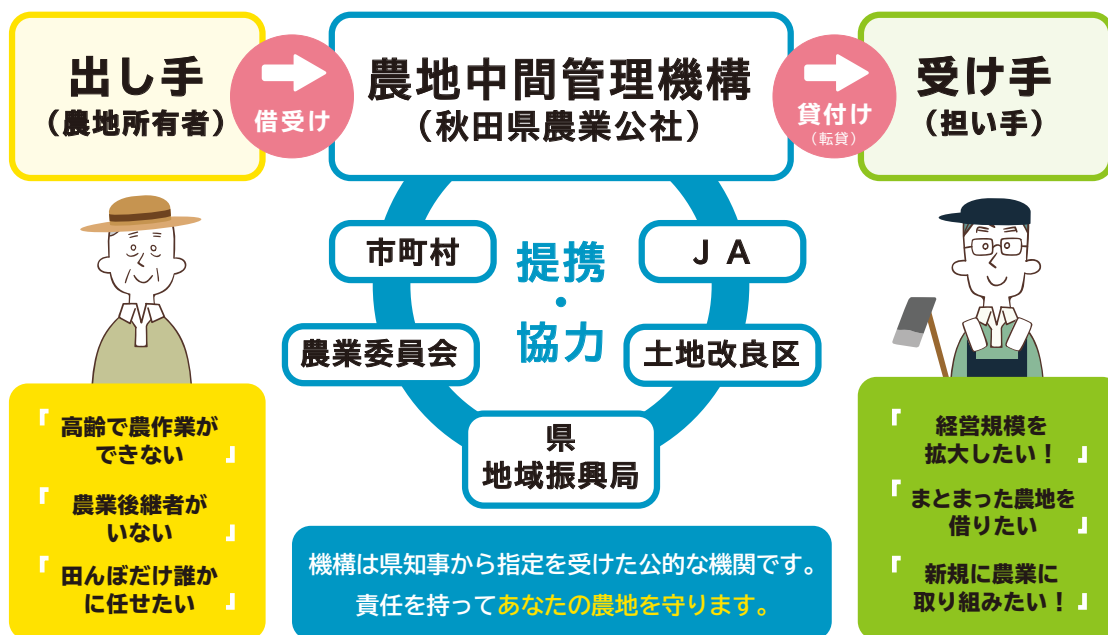
記

1. 農業者の所得増大等を図るため、J Aの総合力を発揮し第29回秋田県J A大会決議を着実かつスピード感をもって実践し、組合員・消費者など地域からより信頼される組織となる。
2. 食料自給率目標の達成のため、T P P対策を含め生産現場の不安を払しょくし、将来を展望できる息の長い政策の確立を政府・与党に対して不断に求めていく。
3. 本県の「食」「農」「J A」の重要性をアピールし、県民理解を醸成する運動を展開していく。

農地中間管理事業の活用法

農地の「貸したい」「借りたい」をサポート

農地中間管理機構は、「公的な信頼できる農地の中間的受け皿」です。
横手市、美郷町では、農業再生協議会が農地中間管理機構より業務委託を受け、当ＪＡが主体となって窓口業務を担っております。



農地中間管理機構を利用するメリット

- ① 賃料の振込も安心！**
賃料(地代)は、機構から確実に振り込まれます。
- ② 農地は返却されます！**
10年の貸付期間終了後、農地は必ず返ってきます。
希望に応じて、継続して貸付けることもできます。
- ③ 税金のことも安心！**
機構へ貸付けても、贈与税・相続税の納税猶予はそのままです。
農業者年金制度の経営移譲、経営継承にも該当します。
- ④ 要件を満たせば機構集積協力金が交付されます！**

お申し込みの手順

農地を貸したい方

貸付申請書の提出

- ▶ 農地を貸したい方は、市町村、農業委員会、JA等へご相談ください。
- ▶ 「貸付申請書」は、市町村等窓口を設置しています。また、機構ホームページにも掲載しています。

申請内容の確認

- ▶ 申請書に記載された農地の状況（地番、面積、権利関係等）を確認し、機構が借りることができる農用地等か否かの判断を行い、貸付希望者リストを作成します。

農地のマッチング

- ▶ 機構が借り受ける際の具体的な条件（貸付期間や賃料等）について協議を行います。

貸借契約の締結

- ▶ 協議が整ったら、農地の貸借契約手続き※を行います。（※「農用地利用集積計画」の市町村の公告）
- ▶ 賃料は毎年12月に指定口座に振り込みます。（初年度限り、手数料 5千円／件）

農地を借りたい方

借受希望申込書の提出

- ▶ 農地を借りたい方は、機構が行う「借受希望者の公募」に応募します。**※必須**
- ▶ 「借受希望申込書」は、市町村等窓口にあります。また、機構ホームページにも掲載しています。

借受希望者の公表

- ▶ 借受希望された方の氏名、借受希望内容を、機構ホームページで公表します。（農地を借りるためには公表が条件となります。）

農地のマッチング

- ▶ 市町村、農業委員会、JA等と協力して、ご希望に沿った農地を紹介し、貸借契約の協議を行います。

貸借契約の締結

- ▶ 協議が整ったら、農地の貸借契約手続き※を行います。（※「農用地利用配分計画」の県の認可、公告）
- ▶ 賃料は毎年11月に指定口座から引き落とします。（初年度限り、手数料 5千円／件）

よくある質問

Q. 機構が借り受ける農地の基準はありますか？

A. 農業振興地域内の農用地等に限りです。また、次のような場合は借りることができません。

- ①農用地等として利用することが著しく困難な農用地等（再生不能な遊休農地）
- ②貸し付けられる可能性が著しく低い場合

Q. 賃料は変更できる？また、貸付けした農地を契約途中で返してもらえる？

A. 出し手・受け手・機構の3者が合意の上で賃料変更や解約は可能です。ただし、協力金が交付されている場合、解約時に返還の対象となることがあります。

※ 貸付申請する場合、農地確認のため「**水稻生産実施計画書兼水稻共済細目書異動申告票**」と「**農地基本台帳**」（各地域局の農業委員会から）をご持参願います。

※ 農地中間管理事業につきましては、よこてシャイニーパレス3階担い手支援室・各営農センター、横手市農業振興課・各地域局地域課産業建設係、美郷町農政課にご相談ください。



今月の組合員のみなさんの活動やJAの行事を、写真と記事で振り返ります。



▲小田嶋組合長が本協議会を園芸振興の起点と称した



▲佐藤孝弘会長があいさつ



▲各部会長から生産振興の意見や要望が寄せられた



▲園芸果樹課の宮川敏課長が方針を説明

園芸振興連絡協議会 園芸重点部会長が集結 今年度の方針を協議

園芸振興連絡協議会は6月7日、園芸重点9部会の部会長や小田嶋契組合長、市の担当者など35人が参加する会合を開きました。農家所得の安定確保のため、市場集約によるロットの拡大を図り、安定販売に向けた分荷計画の策定や、「オール秋田ふるさと」産を前面に青果物販売強化に取り組み、他産地との差別化を図ることなどを確認しました。

同協議会の佐藤孝弘会長（きゅうり部会長）は「管内の園芸作物生産者の情報交換と栽培技術向上、市場における安定した地位の

確保で、生産振興と販売促進活動を通して、所得の向上を図ろう」と呼び掛けました。

横手市からは、市実験農場での菊などの重点作物を主体とした育苗生産体制の構築や地域価値創造拠点整備構想について概要説明がありました。佐藤誠悦農林部長は「本協議会は横手市の農業を左右する重要な機関と感じる。市も生産振興と担い手確保、所得向上などを念頭に置き、JAの協力を得ながら、同じ方向を目指す」と話しました。

小田嶋組合長は「生産振興は生産基盤を作ることが重要。管内では園芸産地全体としての環境整備や生産者育成を図る必要がある」と強調しました。

キュウリ販売対策会議 高品質安定出荷で 1000トン目指す

きゅうり部会は6月16日、横手プラザホテルで県や市場の担当者、生産者など70人が出席して、販売対策会議を開きました。管内の作付状況や生産計画、販売対策について報告、協議しました。今年度は、①高品質安定生産、②検査制度導入による品質の均一化、③一元集荷体制による有利販売などで、出荷量1000トン（前年度比109%）、販売額2億8000万円（同105%）を目指すことを確認。市場ニーズに応える出荷体制を確立し、予約相対販売や市況に応じた分荷を行い、長期安定出荷を計画しました。佐藤孝弘部会長は「今年も気象条件により栽培管理が非常に厳しくなる。きめ細かい管理で高品質なキュウリの長期安定生産を実現しよう」と呼び掛けました。



▲部会員に今年度の部会目標の達成を呼び掛ける
佐藤孝弘部会長



▲会議後、目ざろえ会も実施。市場担当者との意見を合わせた



▲部会員は品質や選果基準を確認した



▲軟化玉や傷果などC品の限界基準のサンプルも並べられた

トマト目ざろえ会 品質平年並みに良好 選果基準を確認

トマト部会は6月20日、金沢選果場で部会員やJA担当者など30人が参加して目ざろえ会を開きました。部会員は、品質や選果基準を確認しました。6月中旬に出荷が始まり、果実の硬さや色周りは平年並みに良好。同部会は近年の猛暑による高温対策として部会員63人のうち9割近くが大玉品種「りんか409」を導入し、作付面積も拡大しています。出荷量全体の約8割を同品種が占める見込みです。出荷は7月20日頃から盆にかけてピークを迎える見通しで、今年は10月下旬までに県内や関東市場を中心に出荷します。予約相対取引を強化し、出荷量600トン（前年度比109%）、販売額1億8000万円（同115%）を目指します。伝野猛部会長は「一つでも多くトマトを出荷できるよう頑張っていこう」と部会員に呼び掛けました。

菌床シイタケ培養管理講習会 秋冬菌の培養管理を学び 販売額20億を目指す

きのこ総合部会菌床椎茸部会は6月15日、菌床シイタケの秋冬菌の培養管理講習会を管内2カ所で開き、部会員や担当者など40人が参加しました。(株)北研東北営業所から講師を招き、寒暖の差が大きい梅雨の管理やその後の高温対策について学びました。気象庁の3ヵ月予報によりラニーニャ現象などの影響で気温が高く、厳しい暑さになる日が平年よりも多くなると警告。「高温障害を受けた菌床は回復が難しく、秋季の発生量に影響を与えるため、夏場の適切な管理が必要になる」と説明しました。柴田徹きのこ総合部会長は「夏場に菌床を25℃以下に抑える管理をして菌床にストレスを与えず、秋からの高品質なシイタケ発生に向け努力する」と話しました。



▲講師を務めた(株)北研東北営業所の岩崎拓也氏(右)が秋冬菌の今後の培養管理を指導した



▲部会員124人で、今年度販売額20億円を目指している



▲部会員は現況と栽培管理について確認した



▲圃場に入り積極的に意見を交わし合った

枝豆栽培講習会 早期出荷に向け 栽培管理の徹底を確認

枝豆部会は6月21日、雄物川地区と大雄地区の部会員の2カ所の圃場で栽培講習会を開き、部会員やJA担当者など35人が参加しました。講習会では「味風香」や「おつな姫」などの今後の栽培管理について学びました。雪印種苗(株)東京統括支店東北支店の山野井透販売係長は「収量を確保するために開花の管理が重要。防除と合わせて花の位置にも湿度を与えてほしい」と要請しました。今年は高温傾向で、雪融けと雑草の生が早く、虫が発生しやすくなっていることから、部会員は防除や追肥などの管理を徹底することや穫り遅れのないように早期収穫、早期出荷を目指すことを確認しました。なお、同部会は7月に視察研修会と出荷目ぞろえ会を予定しています。

女性部大森支部 大森小学校3年生へ食育 「みそ作り体験」

女性部大森支部は6月20日、毎年恒例の「みそ作り体験」を横手市立大森小学校3年生の児童34人を対象に行いました。大森営農センター資材店舗前にある大森農産物食品加工体験施設で、部員3人が講師を務めました。児童は、エプロンや頭巾、手袋、マスクを装備して、ゆでた大豆に塩と米麴こめこうじを混ぜ合わせる作業や専用の機械で混ぜ合わせた大豆をミンチ状にしていく作業、ミンチ状になったものを樽の中に敷き詰め、上から空気を抜くように手で体重をかける作業を順番に体験しました。児童の1人は「ゆでた大豆はおいしかった。大豆のミンチが麺みたいでおもしろかった」など話し、秋のみその仕上がりに期待している様子でした。



▲ゆで上がった大豆を試食させ、感想を聞く部員。大豆はゆでると約3倍にふくらむと説明した



▲みそ樽に2つ計25*ロ仕込んだ



▲ミンチ状に出てくるみそを上手に詰めた



▲年金受給について社会保険労務士から説明を受ける来店者



▲JAの年金受取手続きについても詳しく説明がされた

JA年金無料相談会 社労士が年金受給の 悩みを解決

JAは6月1日から23日までに横手、金沢、大雄、雄物川、山内、大森の6支店において、社会保険労務士を招き、「JA年金無料相談会」を開きました。期間中計77人が相談に訪れ、年金の受給の手続きや受給額などについて質問し、疑問を解消していました。来場者の一人は「年金の話聞く機会がないので、相談会があって良かった」と話しました。当JAでは今後8月17日から8月19日にかけて平鹿支店、十文字支店、増田支店の3支店において同相談会を実施する予定です。なお、各支店・出張所では年金に関するご相談を随時受け付けておりますので、ぜひご来店ください。



夏野菜の代表的な病気 及び生理障害について

【指導員】 園芸果樹課 高橋 達也

まもなく、野菜の収穫最盛期を迎えると思います。病気や生理障害に対応し、高品質で長期収穫できるように努めましょう。

◆トマトの葉かび病

【症状】 葉の表面に不鮮明な淡黄色の斑点が生じます。葉の裏には、灰黄色ないし褐色のまだら模様ができ、かびが発生します。

【原因】 多湿条件で発生し、樹勢低下で発生が助長されます。

【対策】 施設栽培で発生しやすいので、換気を十分に行ってください。

【薬剤】 ▼ダコニール1000
(予防) 1000倍

▼アミスター20フロアブル
(予防+治療) 2000倍など



葉かび病のトマトの葉

◆トマトのカルシウム欠乏

【症状】 果実の表面や内部が黒ずみます。(尻腐れ)

【原因】 多肥、高温乾燥時に

カルシウムの転流が悪くなる

と発生します。

【対策】 灌水などにより乾燥を抑え、カルシウム剤の葉面散布をします。



尻腐れを起こしたトマト

◆キュウリのべと病

【症状】 葉に淡黄色の小さな斑点が生じます。それが次第に拡大し淡褐色となり、葉脈に囲まれた多角形の病斑となります。葉裏にはカビが生えます。

【原因】 多湿条件で発生。また、樹勢低下時にも発生しやすいです。

【対策】 密植を避け、通風及び採光をよくします。敷き藁

やマルチにより土壌からの感染を防ぎます。

【薬剤】 ▼ダコニール1000
(予防) 1000倍
▼アミスター20フロアブル
(予防+治療) 1500倍、2000倍など



べと病が進行したキュウリの葉

◆ナスの半身萎凋病

【症状】 葉や株の片側の下位葉で葉脈間に不鮮明な淡黄色斑が生じ、しおれて葉のふちが巻き上がります。やがては葉の全体に及び、次第に上位葉にも広がり、典型的な場合には株の片側の葉がごとごとくしおれて垂れ下がります。

【原因】 土壌伝染病。発病した残さの中で越冬し、土壌中に数年から十数年生存します。



半身萎凋病にかかったナス

【対策】 ナス科作物の連作を避けます。抵抗性台木を使用した苗の定植や土壌消毒を実施。残さなどは畑の外で処分します。

【薬剤】 ▼ベンレート水和剤
(予防+治療) 500倍、1000倍を土壌灌注
▼クロールピクリン(土壌消毒)など

◆ ◆ ◆
薬剤については一例です。その他登録農薬も多数揃えておりますので、各営農センターなどでご確認ください。また、農薬は随時登録内容の「変更・失効」などがありますので、農薬のラベルをよく確認し、用法及び用量を遵守して散布してください。

地元の高校生が行く！ 突撃！アグリリポート



113時間目



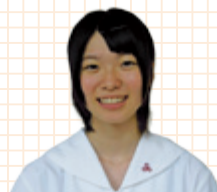
①雄物川特産のスイカを使用した「すいかソフトクリーム」 ②すいかジャムを加える作業。甘さの加減を考えて試行錯誤を重ねました。 ③④6月25日に行われた「雄高祭」でソフトを販売。次のイベントでも多くの皆さんに食べてもらいたいです。

今月のお題

**雄物川のスイカを使ったソフトクリームを販売
そのおいさを多くの人に伝えよう！**

「すいかソフト」の知名度を上げて
横手の新たな特産品にしたいです！

雄物川
高校
3年
柴田
弥悠さん



3年
小松
千尋さん



私たち雄物川高校家庭クラブは、すいかソフトプロジェクト実行委員として昨年8月から「すいかソフトクリーム」の開発に携わってきました。スイカは雄物川町の特産品ですが、1年中スイカを楽しむことができるようにしたいという気持ちから、このプロジェクトはスタートしました。

「すいかソフト」は、すいかジャムを使ったソフトクリームです。雄物川小学校で育てられたスイカも使用しています。ほんのりオレンジ色で、塩で炒ったスイカの種をトッピングしています。試作では、甘くなりすぎないように、ジャムの量を調整しました。また、スイカの種が苦くならないように、炒る時間の調整もしました。市役所の方や地域の方と意見を交わしたり、すいかジャムの作り方を教えていただいたりと、とても充実した活動になりました。

6月25日に行われた「雄高祭」では、このすいかソフトを販売しました。200個を目標にしていたのですが、大変好評で、約300個のソフトを完売することができました。7月18日には雄物川中央公園で開催される「おもフェス」、8月8日には「ははは祭り」でも販売する予定です。「雄高祭」での勢いを止めることなく、次のイベントでもたくさんの方に食べていただけるように頑張りたいです。そして、「すいかソフト」の知名度を上げ、横手市全体だけでなく県内外に広く知られる新たな特産品にしていきたいです。

農に生きる

明日を担う生産者たちの思いを探る



佐々木 和幸さん(43)

● 十文字

Kazuyuki Sasaki

生産品目：スイカ1ha
(トンネル栽培40a、普通栽培60a)
水稻2.7ha

好きなスイカに妥協なし 信頼が生み出す産地形成

夏

を代表する青果物、スイカ。当JA産のスイカの出荷量は県内生産量の4分の3に上り、夏スイカの主要産地として全国の市場に知られています。シャリシャリした食感とさわやかな甘味が特徴。全国の消費者からも高い評価を得ています。

当JAの西瓜部会員数は343人。「栽培管理の徹底」と「誇れるスイカ出荷」を念頭に、生産者の所得向上と一大産地としての自覚を持ち、スイカ栽培に取り組んでいます。

きっかけは新しい命

雄物川地区でスイカを栽培している和幸さんは、28歳の時に就農。「高校を卒業後、市内の製造業に勤務していたが、いつかは家業の農業を継ぐ」と決意

を胸にしていたそうです。そのきっかけは、長男の誕生でした。

和幸さんは、26歳の時、妻の千春さんと結婚しました。当時、佐々木家では両親がスイカ80坪と水稻2・2畝の栽培していました。長男が誕生して生活環境が変わり、和幸さんは就農に踏み切りました。その後、次男の誕生にも恵まれ、現在は6人家族。繁忙期にはバイトを雇いながら、主に両親と和幸さんの3人で家族経営を行っています。

佐々木家では、出荷時期が集中しないように望む市場の声にこたえて、すぐにトンネル栽培を始めました。定植時期が4月20日頃と普通栽培よりも1週間以上早く、作業分散もできるため、栽培面積を拡大にも成功。現在は、1畝の圃場に和幸さん自身が美味いと惚れ込む「あきた夏丸」を生産していますが、消費



④トンネル栽培のスイカから出荷が始まる。和幸さんの圃場では7月22日からの出荷に向けて、玉回しなどの栽培管理を徹底していく



①スイカの生育状態によって収穫時期を区別するため、赤や青、白などに色分けされた目印棒を立てる ②余分な実を摘果する作業を早期に行い、秀品率を高める ③トンネル栽培の中の大玉スイカ。今年も全国の消費者へ向け、高品質なスイカの出荷が期待できる

(撮影日6月28日)



者ニーズに応じ、種が少なく食べやすいスイカの「アカオニ」や小玉スイカの「チツチェ」にも取り組もうと意欲を見せます。

防除の徹底で高品質

和幸さんは「毎年異なる気象条件に対応し、高品質なスイカを生産することにやりがいを感じる」と話します。梅雨時期は、特にスイカが病気になるやすいので防除の徹底を図りながら、摘果作業などに励んでいます。「常にツルの状態をチェックしながら、圃場で作業している」と基本作業に忠実です。

そんな和幸さんは、農作業の多忙の中でも青年部の仲間5人と一緒に食育活動もしています。地元の小学校で4年生を対象に年5回ほど、スイカ栽培の授業を行っています。「食育の中で、子供たちに農作業の苦労と収穫の喜びを感じてほしい」と話します。

スイカ栽培の魅力

「スイカ栽培は短期間です。需要期も限られ、価格が上下し

ます。それゆえの良さと怖さを秘めていることが魅力」と和幸さんは話します。

信頼の2文字

営農におけるモットーを「消費者にも生産者にも信頼を得るような農家」と話す和幸さん。地域の集まりや日々の暮らしの中で、和幸さんの呼びかけに応じてスイカ栽培に取り組んだ仲間も数人います。毎年高品質なスイカを作り続けるといふ信頼、仲間から信頼される技術指導。「信頼」の2文字がゆるぎないスイカの一大産地形成の原動源になっています。



▲両親との家族経営。収穫期には妻やバイトの手も借りて一家で汗を流す

レシピ

今月は

甘 酒



甘酒の起源は古墳時代に遡り、「日本書紀」に甘酒の起源とされる天甜酒あまのあじに関する記述があります。

甘酒は冬に飲まれるイメージがありますが、俳句においては夏の季語となっています。甘酒は体力回復に効果的で、「飲む点滴」と称されることもあります。

甘酒には、ブドウ糖やビタミンB群、オリゴ糖、食物繊維などの栄養素が豊富に含まれています。これからの季節、冷やした甘酒で夏バテを乗り切りましょう！

もあります。江戸時代



我が家自慢の
レシピを伝授！

【 甘酒寒天 】

発酵料理コンテストご当地グルメ受賞作品



レシピの紹介者

【金沢地区】

福田静子さん

これからの季節にぴったりの寒天

夏にぴったり涼しげな見た目、ほんのり甘酒の風味を感じる福田さんの寒天。寒天を入れる前に甘酒を裏ごししてなめらかにすることで甘酒が苦手な方でも食べやすい仕上がりに。甘酒を糀から作る場合、長時間保温すると変色するので注意が必要だそうです。金時草のゆで汁は、ツルムラサキでも代用可。福田さんは17cm×20cm四方の型を使用していますが、どの器でもOK！層をきれいに仕上げる秘訣は寒天の固まり加減。人肌くらいに固まったことを確認して寒天の層を重ねていきます。柔らかすぎると層の形が崩れ、固めすぎると層同士がくっつきなくなります。その日の天候にも左右されるので寒天を作る際は「手早く、目を離さずに！」がポイントです。

● 材料（4人前）

- ・ 糀こうじ（甘酒）／400g
- ・ 水／400cc
- ・ 金時草きんじそうの葉／20枚
 - ・ 粉寒天／1袋14g入×1
 - ・ 棒寒天 1本分
- 【A】
 - ・ 粉寒天／1袋14g入×2
 - ・ 水／800cc
 - ・ 砂糖／100g
- 【B】
 - ・ 砂糖／80g
 - ・ 塩少々

- ① 糀を洗い、電気釜に水400ccを入れ3時間保温して甘酒を作る（市販の甘酒を使用する場合は米麹100%のものを使用）甘酒ができたなら裏ごしする
- ② 金時草をよく洗い、ゆで汁を400cc作る
- ③ 鍋に①の半分と【A】の材料の半分を入れ、火にかけよく混ぜ合わせ、型に流してそのまま約30分かけて固める
- ④ 鍋に②のゆで汁と【B】の材料を入れて紫色の寒天を作り、固まった③に流してそのまま約15～20分かけて固める
- ⑤ 残りの材料で寒天を作り、④に流して冷蔵庫で固めたら完成！

健康情報

「乳腺ドック」を始めました

平鹿総合病院 保健福祉活動室
清水 志



当院では、4月から乳腺専門のドックとして「乳腺ドック」をスタートしました。ドックの紹介をかねて、今回は乳房の検査についてお話しします。

現在、自治体による乳がん検診は、40歳以上に2年に1回、マンモグラフィによる検査を行っています。乳房は母乳をつくって運ぶ乳腺と脂肪などから構成されていますが、マンモグラフィでは乳腺は白く写り、脂肪は黒く写るという特徴があります。また、しこりや石灰化も白く写ります。

乳腺は閉経後から萎縮するため、閉経後では白く写る部分が比較的少なく、マンモグラフィで「がん」が発見しやすくなります。一方で、乳腺が発達している方の場合、マンモグラフィでは乳房全体が白く写り、「がん」が発見しにくくなります。そのため、乳腺が発達している方では「超音波」による検査が有用です。

当院の乳腺ドックの検査内容は「マンモグラフィ」と「超音波検査」です。コースは3つあり、「Aコース（マンモグラフィと超音波検査）」、「Bコース（マンモグラフィ）」、「Cコース（超音波検査）」となっています。完全予約制で、検査はすべて女性スタッフが対応します。ご利用ください。

また、検診やドックは自覚症状のない方が、病気を早期に発見し、治療することを目的としています。気になる症状がある場合は、乳腺外科などの専門の診療科がある医療機関を受診してください。

今回登場してくれたのは、
十文字、大雄、横手地区のみなさんです。

ふるさと サロン

furusato salon
JAを支えてくれているみなさんのページ

キラリ★

管内で農業や農に携
わる若手をご紹介します。
ます。



【十文字】 丹 ^{たかふみ} 貴史さん（34）



地元での農業を志し、経験を積んでいきたい

来年の新規就農を見据え、県農業試験場のフロンティア研修を受講して2年目を迎えた貴史さん。試験場に通う一方で両親が営農している水稻や食用菊、露地メロンの作業を弟と一緒に手伝っています。農業を志したきっかけを、「長年農業を続けている両親の姿や同世代が農業を頑張っている姿を目の当たりにし、地元の人たちのつながりを感じて刺激を受けた」と話します。妻の和歌子さんからの後押しと周囲の助言で、切花の菊の栽培を学ぶ日々。「花を贈ることは、人の気持ちに寄り添うことだと思う。花に気持ちを乗せて届けていきたい」と語ります。「地元で農業をすることは、自分が地元の風景になることだと思う。少しずつ経験を積んでいきたい」と意気込みを見せる貴史さんです。

「まめ」なひと

元気なお年寄りをご
紹介します。

【大雄】 小田嶋 昭一さん（75）



「継続は力なり」で趣味を楽しむ

妻の^{ゆきこ}之子さんと結婚して50年の昭一さん。4月には金婚式を挙げるなど仲睦まじいご様子。夫婦50年の歩みを「今思えば良い思い出」と語ります。

19歳の頃に出稼ぎを始め、運送業を経験。33歳の頃に旧大雄村農協に入組。配送業務や倉庫業務に従事しました。短歌作りや登山、妻とのグラウンドゴルフなど数多くの趣味を持っています。中でも36歳の頃から始めた短歌は2013、2014年と2年連続で全県短歌大会において特選を受賞するほどの腕前です。昨年からは地域の老人クラブの会長を務め、さまざまな行事に顔を出し、多忙を極める昭一さん。「大変だが、楽しんでいる」と笑顔で話します。「継続は力なり」を心に、新しいことにも意欲的に挑戦しています。



みんなの写真展

読者投稿型企画
写真募集



管内の風景などの写真を募集します！

- ◇期 間 2016年4月～2017年3月10日まで
◇部 門 <農に関する行事やその暮らし>
各地の農村行事や農作業の様子、またそれに係わる人々の表情などを募ります。

<管内の風景>

四季折々の美しい風景や厳しい自然の様子などを募ります。

- ◇規 定 応募作品は未発表のものとしします。人物の肖像権など被写体に関する権利を尊重し、応募者の責任で了解を得てください。また、応募作品は今後の広報（掲載・紹介）で使用させていただく場合があります。なお、作品はお返しいたしませんのでご了承ください。いただいた個人情報につきましては本誌の編集以外には一切使用いたしません。

- ◇応 募 2 L以上の大きさのプリントまたは当JAホームページ
(<http://www.akita-furusato.or.jp/>)からデジタルデータで応募ください。
①氏名②年齢③郵便番号④住所⑤電話番号⑥撮影地と内容などを明記してください。

- ◇送り先 〒013-0036 横手市駅前町6-22
JA秋田ふるさと 総務課 広報担当



▲S・Mさん 平鹿町 夏至の夕日



▲T・Kさん 浅舞公園 あやめまつり

コンテストは年度末に実施予定！

組合長賞(1人)	副賞・商品券3万円分
専務賞(2人)	副賞・商品券1万円分
広報担当賞(若干名)	副賞・商品券5千円分



スクール

管内の学校の食と農をご紹介します。

横手市立旭小学校
5年生 62人のみなさん
校長：高橋 晋先生



毎年恒例代かきドッジボール！

旭小は6月10日、同校近くの圃場で田んぼの代かきを兼ねたドッジボールを行いました。JA青年部横手支部が県南旭川水系土地改良区と共同で米づくりの授業として開催している恒例行事で、今年で19年目。児童たちは、全身泥だらけになりながら、白熱した試合を繰り広げました。児童の一人は「田んぼの中は意外に温かかった。素足に感じる土の感触が嫌だったけど、次第に慣れてきた。ドッジボールは体育館で遊ぶより楽しかった」と笑顔で話していました。試合の後には、ウナギの掴み取りにも挑戦。また15日には、もち米「きぬのはだ」の手植えを行いました。



今月のテーマ：『星』

わたしの川柳

鴨泳ぐ
青田の上に
天の川
小松 勇一さん(十文字)

親子孫
星座に夢中
夏の宵
阿部 昭二さん(増田)

空に星
川ではホタル
競い合う
P.N.小田ゴム長さん(金沢)

植え田にも
休耕田にも
星は降る
P.N.ひまつぶしさん(雄物川)

● 優秀作品

● 今月の最優秀作品

暗い世(夜)に
平和な輝き
満天の星
大和谷 タエさん(雄物川)

楽しい川柳作品をお待ちしております。最優秀作品には、素敵な記念品を進呈！
【8月号のテーマ】「花」【応募方法】ハガキに川柳作品（パズルにご応募の方はその答えも）のほか、次頁下段の応募方法①～⑥をご記入の上、ご応募ください【応募先】〒013-0036 横手市駅前町6-22 総務課 広報担当【応募締切】7月29日(金)必着
＜作品をご応募いただく皆さまへ＞ 掲載された作品を横手かまくらFMにおいて随時ご紹介させていただいております。作品と投稿者名（地区は除く）をご紹介しますので、ペンネームでのご紹介をご希望の方は必ず記載してください

応募作品数…20作品
■先の見えない不安な暗がりを照らしてくれるかのごとき星々。考えさせられます。

おたより

【6月号について】

●「農に生きる」の記事。地元の農家さんの研究心と愛情持った取り組みがわかり、毎月楽しみにしているコーナーです。地消意欲がわきます。

／増田 E・Nさん (62)

新しい試みを積極的に行うなど地域農業の牽引役を担う生産者の皆さん。そんな生産者の皆さんの思いをこれからも読者の皆さんに伝えられるよう努めていきたいです。

●クロスワードパズル今回は30分で答えができました。とっても嬉しいです。JAのみなさん身体に気をつけてがんばってください。

／十文字 T・Mさん (61)

●クロスワードパズル親子で楽しく取り組みました！

／雄物川 S・Mさん (52)

クロスワードパズル。できたときの達成感を味わうと楽しくなりますね。担当も答えを伏せて解けるかどうか試していますよ。どしどしご応募ください！

●川柳のコーナー。皆さんすばらしい作品で毎回読むのを楽しみにしております。

／十文字 T・Sさん (62)

最優秀作品に選ばれた方には記念品を進呈いたします。来月のテーマは「花」。皆さんの素敵な川柳のご応募もお待ちしております！

●レシピのコーナーが参考になります。身近な材料で手軽につくれるのが魅力！ゴボウつくね家族に大・好・評でした。

／大森 H・Yさん (48)

●ゴボウ料理が苦手でしたが、このつくねはおいしそうです。

私も作れるように挑戦してみます。

／金沢 M・Kさん (64)

お肉と野菜でかさ増しすると、とても食べやすくなります。お弁当のおかずにも良いかもしれませんね♪

●地元の子供たちが地元の特産物をPRすることで伝統食のすばらしさに気づくことができて良かったと思います。

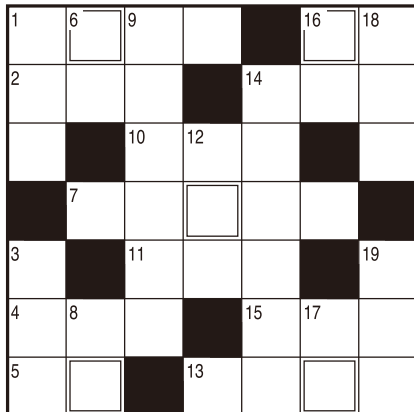
／雄物川 K・Eさん (21)

中学生の皆さんが、販売体験を行ったことをきっかけに、産品への理解を深めて地元をもっと好きになってもらえたらと思います。

管内の風景写真や自慢の逸品、珍野菜など、みなさんの「作品」を募集しています。ご応募は当JAホームページにある専用フォームからお寄せ下さい。(携帯からは、以下アドレスへ) 掲載者には、素敵なプレゼントを差し上げます。
メール【wg-koho@akita-furusato.or.jp】

クロスワードパズル

今月の広報誌に答えの
素材が写っていますよ！



【解き方】全部の問題を解き二重枠の文字を並べ替えると一つの言葉ができます。それが答えです。

↓ タテのカギ

- 1 火を付けて一服
- 3 むめりの強いきのこ
- 6 カレーに添えることもあるインドのパン
- 8 キャンドルからぼたりと垂れます
- 9 シャトルを打ち合う球技
- 12 みそ汁の具に使われる二枚貝
- 14 金時、ウズラ、手亡といえど何の豆？
- 16 考え事をする際に組む人もいます
- 17 明ければ夏本番
- 18 もう着ない服が、——の肥やしになっている
- 19 行きはよいよい、——は怖い

→ ヨコのカギ

- 1 織り姫とひこ星が出会います
- 2 ジャズ——の演奏を聞きに行った
- 4 夕張産が有名な果物
- 5 手のひらの裏側です
- 7 平面は二次元、立体は——
- 10 カタカタと布を縫います
- 11 東京に住んでいる人のこと
- 13 ——の塔は沖縄県糸満市にある慰霊塔です
- 14 親と子の顔が似る理由
- 15 島根県の県庁所在地である市
- 16 カラオケに行って楽しむもの

タニタ
で見えプラスタイマー
(フレッシュグリーン)
3名さまにプレゼント！

5つのリズムを
選べ使い分けに
便利です！



※クロスワードパズルの各マス目の解答は、当JAホームページでご確認いただけます

●応募方法 ※川柳もこちら！

【応募方法】

ハガキに ①答え ②住所 ③氏名（当選発表時にペンネームが必要な方は別途記載してください） ④年齢 ⑤電話番号 ⑥当誌を受け取った場所 ⑦今月の好きな記事とその理由 または、当誌やJAへのご感想をご記入の上、下記までご応募ください。なお、お寄せ頂いたご意見は「お手紙」のコーナーにてご回答させて頂く場合がございます。（①～⑦の項目は必須となります）

【応募先】

〒013-0036横手市駅前町6-22 JA秋田ふるさと総務課・広報担当（※応募はホームページからでもOK。トップページの「みなさんの声と作品をお寄せ下さい！」バナーをクリック！）

【締 切】

7月29日（金）当日消印有効



■ 6月号の答え／ホテルガリ

■ 当選者

熊谷道子さん（金沢）

P.N.ピーちゃんさん（雄物川）

P.N.MOMOMOさん（雄物川）

■ 応募総数／53通

■ 正解者数／53通

「歩こう会」雨天により 予定変更秋季開催に期待



J A 秋田ふるさと健康生き活き100歳プロジェクトは6月16日、雄物川集出荷所で「歩こう会inおものがわ」を開き、約80人が参加しました。雄物川河川公園のウォーキングを予定していましたが、雨天により予定を変更。講演会や体操などを行いました。今秋にも「歩こう会」を実施予定です。広報誌などでお知らせいたします。ぜひご参加ください。

ふれあいセミナーのお知らせ 野菜作り【秋～越冬編】



J A ふれあいセミナーでは、ワンランクアップの家庭菜園や秋まき野菜の特徴・注意点などについて、(株)高井南茄園より講師を迎え、野菜作り【秋～越冬編】を開催します。初心者の方も参加できます。参加費は無料。内容につきましては、回覧配布でも通知します。ぜひ、ご参加ください。

●開催日／平成28年8月4日(木) ●場所時間／横手支店午前9時30分～ 十文字支店午後1時30分～ ●定員／各会場70人まで(定員になり次第締切) ●お申込み締切／平成28年7月29日(金)

【お申込・お問合せ】各営農センター生活担当まで

第14回 J A 杯組合員親睦 ゴルフ大会参加者募集！

J A では、組合員の皆さまとの親睦を図るため、標記大会を開きます。優勝者には豪華賞品を進呈！ぜひご参加ください。



●開催日時／平成28年9月2日(金)午前7時スタート ●場所／羽後カントリー倶楽部 ●プレイ代／メンバー：6,700円、ビジター：7,500円 ●募集人数／200人・50組限定※定員になり次第締切 ●競技方法／18ホールストロークプレイ・新新ベリア方式 ●お申込方法／各支店にてお申込みください ●お申込み締切／平成28年8月5日(金)

【お問合せ】J A 秋田ふるさと総務課ゴルフ大会事務局 電話番号／35-2634

毎月第2土曜日は J A 金融共済土曜相談窓口へ



当J A では、平日ご来店できないお客さまを対象に、毎月「金融共済土曜相談窓口」を開催しています。毎月第2土曜日午前8時30分から12時にかけて、平鹿病院出張所を除く各支店金融窓口で、貯金・融資・共済に関する各種ご相談に応じます。ぜひご活用ください。

【お問合せ】各支店まで



理事会 だより

【第3回定例理事会】

平成28年6月29日開催

議案（抜粋）

- リスク管理債権処理方針について
- 業務報告書及び連結業務報告書の行政庁への提出について
- 平成27年度決算監事監査 検討・改善事項に対する回答書について

報告事項（抜粋）

- 農畜産物の生育及び販売状況について
- 秋田県農協労秋田ふるさと支部の要求書について

出席理事数32名（32名中）

【7月の主要行事予定】

27日 定例理事会（平鹿支店）

理事会メモ

●報告事項第1号「平成28年産米穀売渡委託契約数量集計結果と出荷契約金申し込み状況について（「ふるさとecoらいす」取組状況含む）」において、以下のように報告されました。

（抜粋）

平成28年産米穀売渡委託契約数量は、生産者人数4,564人において、契約数量合計（主食用米・加工用米・政府備蓄米）823,920.5俵となっています。また、「ふるさとecoらいす」の対象銘柄契約数（あきたこまち・めんこいな・ひとめぼれ・ゆめおぼこ）612,762俵のうち、該当契約数量は608,148俵で、計画取組み率は99.2%になっています。

なお、出荷契約金入金日を7月8日頃を予定しています。

サマーキャンペーン2016
定期貯金（1年もの）キャンペーン金利

キャンペーン期間 平成28年 6/6月 8/31水

年0.2% (税引後0.159%)

さらに!

サマーバッグ
マグネットクリップ
スポンジ
いずれか1つプレゼント



©ちよリス

お申込み・お問合せは 各支店・出張所まで

最新 トクする! 住宅ローンセミナー

第18回 JA秋田ふるさと「住宅ローンセミナー」開催

予約制・無料
参加者募集中!

当日は昼食付

住宅ローンの上手な借り方、返し方実践講座

■主催/JA秋田ふるさと ■協力/農林中央金庫 秋田支店

日程・会場 平成28年 8月7日(日)
よこてシャイニーパレス 5階 会議室

時間など セミナー 午前10時30分～（午前10時より受付開始）
「住宅ローンの上手な借り方、返し方」
講師/農林中央金庫 秋田支店
個別相談会 午後1時～

お申込締切 平成28年 8月3日(水)

※定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

お申込み・お問い合せ JA秋田ふるさと ローンセンター
TEL.0182-38-8601 FAX.0182-38-8602
または、最寄りの支店・出張所へお申込ください。



●参加費 無料

●定員 (予約制) 50名

回一センタ一 好評営業中!
土曜日・日曜日 営業時間: 平日 9:00~19:00
相談OK 土・日曜日 9:00~16:00
※水曜日・休曜日（祭日・祝日も含む）は休業。土曜日・日曜日は営業しております。

ふるさとの民話

河童の宝物

●再話／中川文子 ●画／佐々木愉美子

昔むがし、爺様と婆様とえだ
けど。爺様、山さ行つたば河童
寝でらけど。「河童、河童。な
して、寝でらどご」って起ごし
たば、ブルブルと震えながら「あ
んまり寒んびして寝でらどご
だ。爺様、火焚いで暖つため
ければ、俺らの宝物ける」って
言うけど。「良え事聞いだ」ど
思った爺様、家がら火種つこ持
ぎやできて柴つこ集めで焚いで
けだど。

爺様、河童どご憐憫して三日
続けて通つたど。三日目、「爺様、
爺様。これける」って、小っちゃ
こい袋つこ出したけど。「爺様、
この袋つこさ入つてみれ。何処
でも、自分の見でや町、見るこ
どでざるがらな」って言うけど。
爺様、さっそく家さ戻つて寝床
で袋つこさ入つて「大阪さ行き
でえ」って言つたど。したば、
そごさ大阪の町、現れだけど。

大阪はさすが商人の町、行き交
う人々の威勢の良え事。丁度、
その日は天神様のお祭りだつた
ど。爺様、面白して、面白して……
暫ぐして袋つこがら出できた爺
様、「ああ、面白がつた。こん
た面白れ物、誰どさも教しえら
れねや」って、寝床の隅つこさ
袋つこしまつて、まだ、山さ出
がげだけど。

何えも知らねや婆様、台所で
夕餉の惣菜に南蛮味噌こしやだ
けど。んだのも、適当だ入れ物
ねやして困つてらけど。寝床さ
何えがねやべがど思つてゴソゴ
ソど探してだば、小っちゃこい
袋つこ見つけだけど。「こりや
あ、良え袋つこ見つけだ」って、
南蛮味噌入れだけど。

晩になつて、爺様、山がら戻つ
て来たけど。ほえほえど寝床さ
行つてみだば、袋つこ見当たら
ねやけど。顔でねや顔で、婆様

さ「寝床さ置いてら小っちゃこ
い袋つこ知らねやが」って聞い
だけど。したば婆様、「あれだば、
南蛮味噌の入れ物ねやして借り
でら」って言うけど。爺様、「早
ぐ出せ」って急がすなで戸棚が
ら出したば、味噌ど唐辛子でこ
きたねやぐなつてだけど。爺様、
早急して堰の水で洗つて干した
ど。乾いだなで寝床で袋つこさ
入つて「江戸さ行きでや」って
何回も言つたど、江戸の町は
現れねやがつたんだど。

次の朝方、こつ早しねやぐ山
さ行つて「河童、河童。何えも
見ねやぐなつてしまつた。何し
てだべ」って聞いたば、「南蛮
味噌ど一緒に、術、流されでし
まつたんだ」って言うけど。

んだがら、良え物ある時は独
り占めさねやで、皆んなさ教
しえねやばでねやなんだど。



JAの概況

Situation

組合員数	17,558人
（正組合員）	13,136人
（准組合員）	4,422人
貯金	907億9316万円
貸付金	321億5188万円
購買品供給高	14億6607万円
販売品販売高	9億5573万円
共済保有高(保障)	4508億5843万円
(2016年5月31日現在)	

さまざまな栽培講習会を取
すると自分でも栽培したくなる
性分、今年には新たに大玉トマ
トを栽培しています。ハウス栽
培ではないので雨避けなどの苦
勞がありますが、今のところ多
分順調です。また、ニンニクの
後作に今年は枝豆とトウモロコ
シ、サツマイモを植えてみまし
た。枝豆は、日本農業新聞でお
馴染みの東京農業大学グリーン
アカデミー講師福田俊氏の「お
まかせ菜園フクダ流」を参考に、
「摘芯断根育苗」（根と芽を摘む
ことで、つるぼけを防止して多
収を見込む）を試しています。
どうなるか今から収穫時期が楽
しみです。（か）

夏野菜が食卓を彩る季節が
やってきました。陽光をたっぷり
浴びて育つた完熟のトマトや
パリッとした食感がたまらない
キュウリ——幼少期からずと
トマトやキュウリをおやつとし
て食べてきたワタクシ。素材そ
のまま食べるのはもちろん、
味噌や塩をつけてガブツと。そ
して、ホップや麦が使われてい
るシユワシユワしている飲料水
をクイッと。夏の醍醐味です。
(き)

JA通信 ふるさと

発行／秋田ふるさと農業協同組合
企画・編集／総務課 〒013-0036秋田県横手市駅前町6番22号
印刷／(株)全農ビジネスサポート秋田支店

TEL／0182-35-2630
FAX／0182-35-2701
E-mail／fu.staff@akita-furusato.or.jp

秋田ふるさと

検索

検索サイトでJAのホームページに簡単アクセス！

